1997年以降の経営学部の定年退職者の特任人事の実情

■ 特任人事

- ◇ 1997年 香川尚道教授: 教授会で、樋口助教授一人の強烈な反対(業績とする著書に新しい記述がみられないとする)が続き、特任を辞退される。
- ◇ 1999年 濱本泰教授と千葉勇夫教授は、投票もなく、渡辺学部長のもと、学部教授会で承認される。
- ◇ 2010年 二宮正司教授は、投票もなく、北村学部長のもと、学部教授会で承認される。
- ◇ 2012年 原告、吉井康雄のケースは、一方的に特任推薦委員会に推薦しないという井形学部長の決定による特任拒否である。
 - ⇒ 「吉井担当の科目の殆んどは当該学部に不要、もしくは必要度が低く、来年度は不開講のため、特任を認めることができないというのが、 カリキュラム委員会の総意であり、学部長はカリキュラム委員会と一心同体である」として、 教授会での議論を拒否、教授会の席上、特任推薦委員会へは提出しないという決定を井形学部長が行っている。

① 香川教授の特任辞退の事由

香川尚道教授の特任については、教授会議事録には明確にその経緯が記載されていない

原告の吉井が本大学着任時の出来事で、下記教授会の議事録(吉井が転記したモノ)と吉井の日記、

香川学部長時代の樋口助教授とのやりとりを知る教員の説明をもとに記載する。

- ◆ 教授会で、数回(4~5回、或はそれ以上)、樋口先生から、香川先生の特任教員としての要件が満たされていないという追及があった。 特任推薦委員会提出の業績で、香川先生の著書は過去の出版物と内容は酷似しており、なんら新しく執筆されたものとは認めがたい、という 執拗な追及であったと記憶。濱本学部長は認めてやればよいものを、と吉井に話されていたが、樋口先生の執念が勝ったということでしょう。
- ◆ 樋口先生の執拗な抗議は、香川学部長時代の、相互に近似する担当科目による反目のため、というのが、当時の事情を知る教員の説明である。

1997年11月21日(金)14:10~15:10 教授会議事録の抜粋

場所: 本学第2会議室 出席者: 経営学部長他 計20名 香川、北村、樋口、吉井他

(4) 香川尚道教授の特任辞退の件

学部長から香川尚道教授の定年に伴い特任で残っていただくようお願いしたが、辞退されたとの報告があった。なお、演習については非常勤での担当をお願いしていきたいとの報告が併せてあった。

1998年1月9日(金)13:10~15:35 教授会議事録の抜粋

場所: 本学第2会議室 出席者: 経営学部長他 計18名

- 4. 人事に関する件
- (1)非常勤講師の採用について
 - ①香川尚道教授

本年3月末に退職を迎える香川尚道教授を「演習 I 」(新3年)、「演習 II 」(新4年)、「国際金融市場論」(いずれも一部、計3コマ)担当の非常勤講師として採用したいとの提案があり、承認した。発令は1998年4月1日付。

1999年9月24日(金)13:12~15:10 教授会議事録の抜粋

場所: 本学第2会議室 出席者: 経営学部長他 計18名(ただし、委任状3名を含む) 渡辺大介、吉井、大木満、濱本泰他、北村、二宮、樋口他

- 4. 人事について(渡辺学部長)
- (2) 香川尚道非常勤講師の辞任について

香川尚道非常勤講師が2000年3月末をもって辞任する旨届出があったが、ことの性格上、受認せざるを得ないことが報告され、了承された。

② 濱本泰教授と千葉勇夫教授の特任採用の事由

※ 吉井の日記「1時からの教授会はスムーズに事なきを得る」とあり、学部長の説明と同意を得る行為で反対意見なく承認されたものと思われる。

1999年7月2日13:10~15:20 教授会議事録の抜粋

場所: 本学第2会議室 出席者: 経営学部長他 計17名(委任状1名含む) 渡辺、北村、千葉、二宮、濱本、本田、吉井、今西、樋口、井上、大木他

- 4. 人事について(渡辺学部長)
- (1)特任教員の任用について

当該者は退席し、資料を回覧して特任教員の任用が審議され

特任推薦委員会が任用基準にしたがって推薦した濱本泰教授と千葉勇夫教授の特任任用が承認された。

③ 二宮正司教授教授の特任採用の事由

※ 何の意見も議論もなく、「ハイハイ、シャンシャン」で終わった。投票もなかったよ」とのこと

2010年10月22日16時4分~17時20分 教授会議事録の抜粋

場所: E館第1·2会議室 出席者: 経営学部長他 計35名 北村学部長、井形、二宮、渡辺、後藤 他

- 2. 人事に関する件
- (2)2011年特任教員任用について[発令:2011年4月1日]
- ① 二宮正司教授

大阪経済大学特任教員Aとすることを承認した。 (任期:2011.4.1~2014.3.31)

3. 学部長辞任・学部長選任に関する件

北村實経営学部長の辞任に伴う後任の学部長の選出方法にして議論した結果、選挙管理委員を木村委員、栗城委員、林田委員とし、投票にて井形浩治教授を学部長に選出した。

在籍者33名に対し経営学部教授会構成員の氏名を印刷した投票用紙が配布され、1名に丸印をつけて投票することを確認した。 投票終了後は木村、林田、栗城の三氏による選挙管理委員により開票ならびに集計作業が行われ、即時に木村俊郎委員長により 全員の得票数が発表された。

★ 投票の場合は、必ず投票結果を記載します。

★ 経営学部では、特任教員任用に際し、過去、投票を行ったことがない

結果、井形教授27票、渡辺教授2票、本田教授2票、池野教授1票、白票1票となり、 過半数以上を得た井形教授を次期学部長候補者に選出した。 その後、井形教授より学部長に就任する意思表示があった。(任期:2010.11.1~2011.3.31)

★ 特任教員の承認に際し、原告(吉井)が 在職中の16年間に亘り、経営学部教授会は 投票することなく承認している。

★ 井形学部長は、二宮正司の特任承認に際し、 投票していないにもかかわらず、投票したと 虚偽説明をし、新規採用であるから投票による 3分の2以上の承認が必要と説明、吉井に特任 申請辞退を迫っている。(録音データ参照)

★ 特任教員任用新規程(2010年4月1日施行) では、任用基準第4条に「本学の教員として ふさわしい研究・教育・運営上の活動を行って きたと認められること」とあるが、

この規程に抵触する行為があったにも